



2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正治

第4回 2050年カーボンニュートラルに向けて 地域からの発信／意欲的な取組や事例を通して

2021年8月12日(木) 18:00-20:00



竹内昌義 Masayoshi Takeuchi

東北芸術工科大学デザイン工学部
建築・環境デザイン学科 教授
1988年 東京工業大学大学院修士課程修了
2001年 現大学助教授、2008年～教授
著書：「図解エコハウス」他
作品：山形エコハウス、最上の老人ホーム他
受賞：2013年「House_M」JIA環境建築賞最優秀賞、東北建築賞他

国交省、経産省、環境省の3省により設置された「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」の有識者委員竹内氏の提言資料は公開されています。竹内氏はご自身の提言についてJIA会員に意見を求め、その意見収集と同時期に本セミナーの企画は進められました。本年4月から開催された上記検討会で注目されたのは、鳥取県をはじめとする「脱炭素について独自に率先して実行している地域の取組み」です。自主的に国以上の目標を立てて達成しようとしている事例は現況において希望の道しるべです。今回本セミナーでは、長野県に注目しました。同県は6月に「長野ゼロカーボン戦略」を制定し、県独自にNDC（パリ協定に基づく温室効果ガス排出削減目標）60%を目指すと言いました。JIA長野地域会の新井氏は県の方針に沿うプロポーザルに応募し、木造公共建築の設計を受注されました。新井氏に、県内のZEB・ZEHの取組みの実状を紹介して頂きます。また、竹内氏には上記検討会を経ての脱炭素に向けてのお考えや、山形県・長野県等の地域の取組みに詳しい立場から「地域への期待／地域から始まる脱炭素の流れ」についてお話を展開して頂きます。



新井優 Masaru Arai

新井建築工房+設計同人NEXT代表
JIA関東甲信越支部長野地域会「JIA長野県クラブ」代表
1976年 飯田市(株)桂建築設計事務所
1984年 飯田市(有)みずゞ設計
1996年 新井建築工房+設計同人NEXT設立
受賞：2011年「りんご並木のエコハウス」JIA環境建築賞優秀賞他。2020年長野県林業大学校男子寮棟改築事業 公募型プロポーザル1位

会場：オンライン／ZOOM Webinar
定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参加費：無料(複数名同室視聴可)
CPD：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去のおで申込済の方は重複の必要はありません

<注意事項> ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。
< 接 続 > 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード



次回▶第5回：2021年8月19日(木)18：00-20：00
講師：伊礼智(いれいさとし)氏

- ・第1回：7/8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木)講師：諸富徹氏
- ・第6回：8/26(木)講師：田辺新一氏



The Japan Institute of Architects
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画・実施協力：JIA環境会議
<問い合わせ先> 公益社団法人日本建築家協会 本部事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F
E-Mail：cns@jia.or.jp HP：http://www.jia.or.jp